
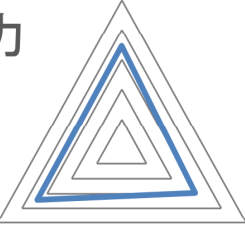



1 さぬき力（非認知能力）に関する子供（34名）の実態

授業づくりの重点項目		
<p style="text-align: center;">さ力</p> <p style="text-align: center;">社交性</p>  <p style="text-align: center;">思いやり 協調性</p> <p>「社交性」の自覚度がかなり高く、授業では、ペアやグループでの話し合いを積極的に行うことができしており、ほとんどの子供が自分の考えを伝えたり友達の考えを聞いたりしている。一方で、普段の交友関係は固定化されてきており、新しいつながりを作ろうとする姿はあまり見られない。</p> <p>「協調性」の自覚度も高く、自分とは違う考えを受け入れることができる子供が多い。</p>	<p style="text-align: center;">ぬ力</p> <p style="text-align: center;">目標への情熱</p>  <p style="text-align: center;">粘り強さ 忍耐力</p> <p>自分の興味のあるテーマについて調べたことを基に、報告する文章を書く学習をした際は、途中で文章を見直したり、友達にアドバイスをもらったりして何度も修正するなど、より相手に伝わりやすい文章にするという目標に向かって、粘り強く取り組む姿が見られた。</p> <p>一方で、「忍耐力」の自覚度は少し低くなっており、自分の苦手なことや興味の無いことに関してはあまり関心がもてず、集中が続かない子供が多い。</p>	<p style="text-align: center;">き力</p> <p style="text-align: center;">自分を信じる力</p>  <p style="text-align: center;">回復力 自制心</p> <p>「自制心」の自覚度が高く、普段から委員会・当番活動などの与えられた仕事に対しては、真剣に取り組んでいる子供が多い。</p> <p>一方で、「自分を信じる力」「回復力」の自覚度がともに低くなっている。ペアやグループで交流する際に自分の考えを話すことができても、全体ではなかなか発表できない子供が多いことから、自分の考えに自信がもてなかったり、失敗を恐れたりする傾向があると考える。</p>

2 教科に関する子供の実態

- ・家にある本や借りてきた本など、学校の授業以外で物語を読むことがある。(22名)
- ・物語を読むときに、国語の時間に学習したことが役立ったことがある。(13名)
 - ①登場人物の心情を考えながら読むことができた (6名)
 - ②物語の内容がよく分かった (4名)
 - ③場面分けの仕方が分かった (2名)
 - ④山場を意識して読めた (1名)
 - ⑤主人公に注目して読めた (1名)

3 個別支援が必要な子供の実態

A児…友達の失敗を許すなど、相手の気持ちを押し量ることはできるが、気を許した友達以外とは自分から関わろうとしない。また、「交流する時に、友達の考えを積極的に取り入れようとしていますか」という質問に対して、「全くしていない」と回答するなど、交流のよさや必要感をあまり感じていない。

第5学年東組 国語科学習指導案

「人物像を想像しながら読もう ～『たずねびと』～」

学習指導者 東 泰右



1 本単元で目指す『自ら伸び続ける子供』の姿

【授業の詳細】

本単元では、『たずねびと』を読んで中心となる人物の人物像を具体的に想像し、「私の考える綾」カードを書いて友達と紹介し合うという言語活動を設定する。子供たちは、物語の中に多様に描かれている綾を「私の考える綾」としてまとめ、そう考えた理由を書いてカードを完成させるために、綾の人物像を具体的に想像していく。綾の人物像を具体的に想像する際は、まず、物語全体を通して描かれている戦争や、戦争と綾をつなぐ存在であるもう一人のアヤに対する綾の思いを場面ごとに捉える。そして、捉えたことを基に、綾の性格や考え方を総合して判断し、「私の考える綾」についての考えを友達と交流する。例えば、「僕は、『亡くなった人のことを思いやることができる人物』だと思うよ。『この楠木アヤちゃんの…』や『わたしははずかしくなって…』のところから、綾は戦争で亡くなった人たちも夢や希望をもって生きていたことを初めて知って、その人たちのことを可哀想に思い、寄り添っていると思ったからだよ」「私は、同じところから、『戦争について真剣に考えようとする人物』だと思ったよ。このときの綾は、亡くなった人たちの分まで生きるということを考えてこともなかった自分を深く反省していて、亡くなった人たちのために何ができるのかを考えようとしていると思ったからだよ」「なるほど。綾の『はずかしくなって…』は、今までの自分の生き方を振り返って反省しているんだね。自分はそのままで考えられていなかったな」などと、考えたこととその理由を友達と交流することによって考えや理由が付加されたり、強化されたりして、綾の人物像をより具体的なものにしていくのである。このような学習を通して、人物像を具体的に想像したり、物語全体を通して描かれているものを捉えたりする読みの力を身に付けた子供たちは、今後出会う物語作品についても同様に、登場人物の人物像を意識しながら読んでいくであろう。

2 単元計画と働きかけの概要（本時 4/6）

次	学習の流れ	働きかけ
一	<p>① 『たずねびと』の学習計画を立てよう</p> <p>『たずねびと』を読んで「綾はどのような人物か」について考える。交流によって、登場人物の捉え方は多様にあることを確認し、「『私の考える綾』カードを書いて友達と紹介し合う」という単元のゴールを設定する。ゴールに向かう過程で「登場人物の人物像を具体的に想像しながら読む」という伸ばしたい力を身に付けていくことを確認し、学習計画を立てる。</p>	<p>見通し 情【計画確認タイム】②～⑥</p> <p>単元のゴールと伸ばしたい力、学習計画を示した補助黒板を基に学習課題を確認した後、前時の振り返りの結果を示すことで、学習課題の有用性を感じられるようにする。㊟学習課題の解決がゴールに近付いたり、伸ばしたい力を高めたりすることにつながることを感じている姿を即時的に称賛する。</p>
二	<p>②～⑤ 物語を読んで綾の人物像を想像しよう</p> <p>物語を「綾が広島に行くまでの場面」「綾が戦争を知らせるさまざまなものに出会う場面」「綾がおばあさんと出会う場面」「綾が戦争について自分なりの考えをもつ場面」といった大きく四つの場面に分け、それぞれの場面ごとに、戦争やもう一人のアヤに対する綾の思いを捉えていく。そして、捉えたことを基に、性格や考え方を総合して判断し、「私の考える綾」をまとめていく。そして、「私の考える綾」について友達と交流し、より具体的なものにする。</p>	<p>行動 社【なるほどタイム】②～⑤</p> <p>全員の考えを一覧で見られるようにし、気になる考えについて自由に交流する時間を設ける。㊟振り返り場面において、進んで友達と交流したことで自分の考えの広がりや深まりを感じている姿を称賛する。</p>
三	<p>⑥ 「私の考える綾」カードを書いて紹介し合おう</p> <p>「私の考える綾」カードを書いて友達と紹介し合う。そして、単元導入時の綾に対する捉えとカードの内容を比べることで、登場人物の人物像を具体的に想像しながら読む力が伸びてきていることを感じ、本単元の学習を振り返る。</p>	<p>振り返り 信【成長確認タイム】②～⑤</p> <p>友達と進んで交流できたか、人物像を具体的に想像することができたかについて振り返る時間を設ける。㊟登場人物の人物像を具体的に想像しながら読むことに関する自信を高めている姿を即時的に称賛する。</p>

3 本時の学習

目標	綾の人物像について考え、考えたこととその理由を友達と交流することを通して、より具体的に想像することができる。
-----------	--

学習活動と働きかけ	主な子供の意識	
見通し 1 学習課題を確認する。 【目標への情熱】 【計画確認タイム】	これまでは、5・6場面までを読んで、そこに表れている綾の戦争やアヤちゃんへの思いを捉えて「私の考える綾」を想像してきたよ。 今日学習に取り組むと、「私の考える綾」カードの完成に近づくから、頑張るぞ。 これまでも「私の考える綾」が少しずつ詳しくなってきたから、今日友達とたくさん交流するぞ。	
7場面を読んで、「わたしの考える綾」を想像しよう		
行動 2 綾の人物像を具体的に想像する。 (1) 個人で (2) 自由に交流 【社交性】 【なるほどタイム】 (3) 全体で	7場面は、「綾がおばあさんと出会う場面」だったね。この場面までの綾は、どんな人物だと言えるかな。 私は、「亡くなった人のことを思いやることができる人物」だと思うよ。「この楠木アヤちゃんの…」や「わたしははずかしくなっていて…」のところから、綾は戦争で亡くなった人たちが夢や希望をもって生きていたことを初めて知って、その人たちのことを可哀想に思い、寄り添っていると思ったからだよ。 私は、同じところから、「戦争について真剣に考えようとする人物」だと考えたよ。このときの綾は、亡くなった人たちの分まで生きるということを考えたこともなかった自分を深く反省していて、アヤちゃんやその他の戦争で亡くなった人たちのために自分には何ができるのかを考えようとしていると思ったからだよ。 なるほど。綾の「はずかしくなっていて…」は、今までの自分の生き方を振り返って反省しているんだね。自分はそのままで考えられていなかったな。「思いやり」という言葉は確かに綾の人物像を表しているね。「おばあさんががっかり…」のところでは、おばあさんの心配までしていたよね。 友達と進んで交流すると、新しい発見があったり、自分の考えに自信をもてたりしたよ。もう一度、「私の考える綾」について考えてみよう。 友達の考えを聞いて、綾が恥ずかしく感じていた理由がよく分かったよ。僕は、「亡くなった人のことを考えて、自分を反省することができる人物」に変えるよ。 私は、自分と違う考えの友達と話しかけて、自分の考えに納得してもらえたから「私の考える綾」にもっと自信をもてたよ。「私の考える綾」はこのままにしておこう。 友達の考えをたくさん聞いたから、「私の考える綾」が詳しくなってきたよ。	
振り返り 3 本時の学習を振り返る。 【自分を信じる力】 【成長確認タイム】	進んで友達の考えを聞きに行ったから、これまでよりも「私の考える綾」が詳しくなったよ。 初めの考えからあまり変わらなかったけれど、友達と話したことで自分の考えに自信をもてるようになったよ。 次の時間は、「私の考える綾」カードを書いて友達に紹介するぞ。	

評価	戦争やもう一人のアヤに対する綾の思いを基に、「私の考える綾」をまとめ、考えたこととその理由を進んで友達と交流することで、考えが付加されたり、強化されたりしている。また、登場人物の人物像を具体的に想像する力が身に付いてきたことを感じている。 【方法：記述・発言】
-----------	--

